

【庄原地域 庄原地区】

以前、総合福祉センター建設計画があり、現在中止となっているが、今後、総合福祉センター、生涯学習センター、自治振興センターを統合したものを建設するよう要望する。

(回答) 企画振興課・社会福祉課・生涯学習課

平成28年3月に策定した「庄原市公共施設等総合管理計画」において、全ての施設を対象に設置目的や役割、将来の見通しなどを分析し、あるべき姿を検討することとしている。

また、今年度より着手する市民会館の整備の方向性について調査・検討を進める中で、他施設との関係性や最適な配置等を含め総合的に判断してまいりたい。

駅前整備計画が13億円の予算で進んでいるが、これまで事業者1社、民家1軒が転出した。この予算が活かされたものになるよう進めてほしい。県営住宅などの移転なども考えられる。

(回答) 都市整備課

幹線道路や公共交通の結節点である駅前広場といった都市基盤整備を年次的に行い、安全で賑わいのある市街地環境の創出を図るべく事業を計画している。

高齢化が進んでくるので、街中に移住することを勧めるコンパクトシティ化を進めてほしい。富山市などへの視察研修も検討されたい。

(回答) 高齢者福祉課

今年度、高齢者向けコンパクトシティ基本計画を策定するとともに、西城地域・比和地域において「高齢者冬期安心住宅」の整備をすることとしている。

日赤でジェネリックを希望したら、「日赤では扱っていない」と言われた。市から日赤に対して、ジェネリック医薬品の処方をするよう要請してほしい。

(回答) 保健医療課

庄原日赤は医療効果を確認する中で少しずつジェネリック医薬品の取扱いを増やしているが、使用割合は比較的少ない状況である。庄原日赤としては医薬品費を含んだ総合的な医療費負担が少なくなるよう取り組んでいるが、公的医療機関とし

て位置づけられていることも踏まえ、今後、情報共有を図りながら、協議を進めていく。

#### 【庄原地域 本村地区】

現状の中で、空き家にならないよう道路整備・生活環境整備を充実してほしい。

(回答) 建設課

長期総合計画及び道路整備計画等に基づき計画的な道路整備を行う。また、日常生活の利便性向上を目的とした生活道整備補助制度の利用促進を図る。

適正な消防団員の確保の為に、しっかりと関係機関と再編成を協議してほしい。

(回答) 危機管理課

消防団員確保のため、広報誌での募集、市職員への加入説明や県立広島大学への学生勧誘についての説明など、加入促進を図っている。引き続き加入促進に向け、取り組んでいくとともに、消防団内部でも機能別分団等について検討する。

#### 【庄原地域 敷信地区】

後期高齢者の対策について、市民へ情報提供をしてほしい。

(回答) 高齢者福祉課

引き続き、広報媒体等を通じ、情報提供に努める。

#### 【庄原地域 山内地区】

放課後子ども教室等を自治振興センターで実施しているが、自治振興センター(建物)の耐震診断はどうなっているのか。

(回答) 企画振興課

耐震診断は法律の定めにより、昭和56年5月以前に建てられた、一定の要件を有する建物に対し義務付けられている。22自治振興センターでこの要件に該当するのは、庄原自治振興センターのみであることから、平成22年度に耐震診断を行っている。

## 【庄原地域 北地区】

国道 432 号にある「須川トンネル」「田の平トンネル」は、勾配・法線・冬季の凍結・照明等に問題があり、交通事故も多い。整備改良を進めてほしい。

### （回答）建設課

引き続き広島県に要望していく。

## 【西城地域 八銚地区】

日南町や大東病院では、血液検査によるがん検診が行われており、身体的な負担が軽い中で、早期発見に効果をあげている。本市でも実施の検討をしてほしい。

### （回答）保健医療課

現在の本市のがん検診事業は、国の指針等による科学的な根拠に基づき、精度が高いとされている健診方法を用いて実施している。

血液検査によるがん検診のような新しい検査方法の導入については、その精度や安全性に関するデータ、費用に対する効果、国、県の指導や他の自治体の動向などを見極めながら検討する。

基幹産業を農業、林業と提唱しながらも、予算編成においては軽んじられている。特に、林業における一般財源は有害鳥獣駆除が大半である。推進するのであれば、それなりの予算措置をすべきだ。

### （回答）林業振興課

平成 27 年度当初予算一般会計における農林水産業費の割合は 8.6%で、農林業の振興に重点を置き、取り組んでいる。（県北部の 2 市 2 町の平均値 7.1%）

林業費における市単独事業は、約 6 割が有害鳥獣対策に関わるものとなっている。林業振興計画に掲げる各種施策を推進するために、市単独の補助制度を含め振興策を検討していく。

## 【東城地域 田森地区】

庄原市の誇りは、文化と自然である。神楽を舞う設備・施設整備を検討してほしい。文化（地域）の残る政策をお願いしたい。

### （回答）生涯学習課

現在、庄原市民俗芸能保持団体には、文化財を後世に伝えていくための補助制度を設け、保存伝承への活動をお願いしている。

庄原市内には神楽保存団体を含め文化財保存団体が複数ある。まずは、それぞれの施設活用状況等を調査していきたいと考えている。

## 【東城地域 久代地区】

久代地区も少子化が進んでいる。今後、東城町内の小学校の統廃合が進むことが心配だ。

### （回答）教育総務課

市内全体で児童生徒数が減少し学校が小規模化している現状を踏まえ、学校教育関係者、保護者代表、地域社会関係者及び学識経験者等による「庄原市学校適正配置検討委員会」を平成 28 年度に設置し、今後の小中学校の適正な規模や配置に関する基本的な方針等について検討を行う。

75 歳以上も、市の間ドックの補助対象にしてほしい。

### （回答）保健医療課

間ドックの助成は、国民健康保険の事業として実施している。75 歳以上の高齢者については、病院や診療所で診療を受けている方の割合が多く、また、集団健診を推進する中でも助成を行っているので、現在のところ助成の予定は無い。

市として、全ての医療機関へジェネリック医薬品の使用を啓発してほしい。

### （回答）保健医療課

市では、国保の被保険者へ個別にジェネリック医薬品使用促進の通知を送付しており、これにより、年々切り替え者数が増加している。今後も継続して使用促進の啓発を続けるとともに、医師会等を通じ、医療機関にも働きかけていく。

【東城地域 帝釈地区】

地域包括ケア、リハビリ体操など、全て自治振興区に負担がかかってくる。これ以上負担がかからないよう配慮してほしい。

(回答) 高齢者福祉課・地域包括支援課

シルバーリハビリ体操は、指導士活動を希望する高齢者を対象に指導士を養成し、地域の高齢者の集いの場において、介護予防の普及啓発にご尽力いただいている。引き続き、サロン等で指導士をご活用いただきたい。

地域包括ケアは、在宅高齢者の生活支援（見守り・支えあい）において、自治振興区の地域活動が基盤となるため、引き続きの取り組みと連携をお願いしたい。

県道東城庄原線は計画にあがっているようだが、早急に工事改良を進めてほしい。

(回答) 建設課

引き続き広島県に要望していく。

【口和地域 口和地区】

県道新市三次線の（永田金田間の歩道設置）の要望はどうなっているのか。（自治振興区から市へ要望を出している）

(回答) 建設課

広島県が平成28年度より永田側から測量を開始する予定である。

永田金田線はカーブも多く、歩道もない。そのため冬季は、児童生徒の通学路にならない。庄原市へ要望書を出しているが、回答がない。

(回答) 建設課

広島県が平成28年度より永田側から測量を開始する予定である。

（永田金田線は県道新市三次線のことであり、要望内容は前の質問と同様歩道設置の要望である。）

国保税の未納について、国保税の支払い回数を多くしたほうがいいのではない  
か。

(回答) 税務課

納期を増やすよりも、新規加入者に対し、保険税の自主納付及び納期内納付意識の啓発のため、口座振替の勧奨を行うことで、未納が発生しないように努めて  
いきたい。

給水管敷設地域へ隣接する世帯に対し、給水ができるように配慮すべきではない  
のか。

(回答) 水道課

当該世帯が国から認可を受けている計画給水区域内であれば給水することは検  
討可能であるが、それ以外の区域では、給水することはできない。現状では、対  
象世帯、給水人口の減少や急峻な地形による建設改良費の増加が見込まれ、水道  
事業の経営上、計画給水区域を拡張することは困難な状況である。

難視聴世帯への対策として共聴施設があるが、構成員の減少、老朽化などの状況  
が発生しており、支援が必要である。

(回答) 管財課

共聴施設の運用、維持等に係る経費については、共聴施設組合の負担となるこ  
とを理解いただいて補助事業を実施しており、共聴施設組合において対応をお願  
いする。